

# 第1回 第2次三遠南信地域連携ビジョン策定委員会 議事概要

日時 平成29年8月2日(水) 14:00~16:00

場所 浜松市役所 北館 101・102 会議室

出席者 別紙のとおり



## 1 開会

## 2 委員長あいさつ

【委員長：静岡文化芸術大学 池上副学長】

- ・元々はインドネシアをフィールドとする文化人類学の研究が専門で、1990年代の半ばにこの地に移り、多文化共生を研究。多文化共生分野の集住都市会議があり、豊橋市、飯田市にも来訪した経験がある。地域連携についてこれまで関る場面が少なかったが、これまでの経験を活かしながら、この地域が1つのビジョンを目指していくお手伝いが出来ればと考えている。
- ・今回改訂する三遠南信地域連携ビジョンは、平成20年に行政・経済団体の連携で策定され、その後、SENAが発足し、連携の推進役となった。
- ・10年間で社会情勢は著しく変化し、広域連携の重要度が益々高まった。参加連携団体は93団体に拡大し、道路整備やリニア中央新幹線等も着実に進展した。
- ・今年度から2年間で、10年後を見据えた新ビジョンを策定する。実りある会議となるよう、協力をお願いする。

〔事務局より委員会設置の確認〕

- ・本委員会は、SENA規約第11条によって設置された専門委員会であり、28名の委員と10名のオブザーバーが参加している。委員長は、静岡文化芸術大学副学長 池上重弘氏、副委員長として豊橋市企画部長 広田哲明氏（本日は代理で政策企画課長 加藤智久氏）、飯田商工会議所専務理事 福澤栄二氏の2名をお願いしている。
- ・本日の委員会は報道公開し、議事要旨についても公開するので、了承いただきたい。

## 3 議事（議事進行：委員長）

（1）第2次三遠南信地域連携ビジョン策定方針（案）について（事務局から説明）

【委員長】

新ビジョンのスパンを10年とすることについてどう考えているのか。

【事務局】

第1次のビジョンにならって設定した。是非ご意見をいただきたい。（他の委員から意見無し）

【委員長】

5年程度では結果も出ないため、10年スパンとしたと理解する。

(2) 現行の三遠南信地域連携ビジョンの評価・確認について（愛知大学戸田教授から説明）

【地域づくりサポートネット 山内代表】

長野県南部では下伊那地域を「南信州」、上伊那地域を含めると「南信」という言い方をすると聞いている。今回の資料は混在しているため、「南信」で統一すべきではないか。

【愛知大学 戸田教授】

統一して修正する。

※その後、「南信」という表記について他からも意見が寄せられたため、表記の変更については事務局で慎重に検討をしていきたいと考えています。

(3) ビジョンの目的に関する構造変化について（事務局から説明）

【副委員長：飯田商工会議所 福澤専務理事】

地域産業においては、人手不足と同時に、事業継承も大きな課題である。どのように新ビジョンに盛り込むかは別として、検討する中でこうした視点も重要ではないかと考えている。

【事務局】

地域構造への対応の視点から人口減少は大きな問題で、労働力確保も注視していきたい。中小企業のみならず農業、伝統芸能の後継者問題にも着目していきたい。

【委員長】

林業後継者にも留意すべきである。

【地域づくりサポートネット 山内代表】

地域住民から、「“三遠南信”とは何か」と聞かれることが未だに多い。このため、住民の三遠南信地域への認知度、連帯感の意識等の変化について客観的な実態把握が必要ではないか。

【愛知大学 戸田教授】

そのことについて調査を行うには膨大な費用がかかり、実施は難しい。但し、自治体、商工会・商工会議所の協力を得て、市民意識調査や商工会議所等の会員向け資料に盛り込んでもらうことで把握できるかも知れない。

【事務局】

ビジョンの成果は地域住民に還元されないといけないと考えている。認知度に関しては、“三遠南信”という言葉の認知度以外に、色々な取り組みの認知度、住民への理解度も重要である。そうした視点にも留意しながら新ビジョンの検討を進めていきたい。

(4) 三遠南信地域のポテンシャルについて（事務局から説明）

【意見なし】

(5) 全体を通じた意見について

【豊橋技術科学大学 大貝副学長】

- ・ビジョンの効果を目に見えるような形で分析し、進捗管理ができるかという点についてはどうか。愛知大学の分析等も活かして欲しい。
- ・三遠南信サミットの分科会の内容を見ていると、毎年同じような議論をしておき、進んでいかないという印象がある。年に1度の貴重な場なので、分科会の成果として議論が進んでいくようにしてほしい。
- ・欧州の広域連携の推進組織では、博士号（経済、都市計画等）を持った人が専任で進めている。SENAも愛知大学との連携をしているので、少し近づいたように思うが、もう少しSENAの体制を強化できると良いと思う。
- ・広域連携で、地域全体が利益を享受できる分野となると、道路と広域観光が主となる。それ以外の分野で、地域全体で取り組めるものを見つけ出せると良いと思う。

【法政大学 高柳教授】

- ・この地域在住でも在勤でもないが、5年前から南信で始めた学部の学生研修を担当している関係で、今回から参加することになった。
- ・この10年間でSENAの構成メンバーが大きく変わった。また例えば、長野県で言えば、東三河だけではなく西三河との文化的繋がりがあつたり、平谷村や根羽村では矢作川流域で、愛知県・岐阜県との連携組織もつくつている。三遠南信の範囲を固定的に考えるのではなく、今後10年の変化も見据えて柔軟に捉えていくことが重要ではないかと考える。
- ・三遠南信の中心都市は3市（浜松市、豊橋市、飯田市）であるが、その浜松市、飯田市でも広い中山間地域を持っている。中心都市の中心部だけでなく、廃校を地域の活性化に利用する案や、地域おこし協力隊の活動など、中山間地域からの発想にも重点をおくことが重要だと考えている。

【平谷村総務課 滝澤課長】

本日の資料をみると、リニア中央新幹線の記述は多いが、飯田線についてはあまりない気がする。飯田線の活性化等についても視野に入れて検討してほしい。

【みらい企画 矢澤代表】

- ・お祭り後継者不足が深刻化している。祭りと食の関係は深く、観光や地域の特異性を表現できる材料になると考えており、祭りと食を具体的に事業につなげていけるといいと思う。
- ・また、事業の具体化のための知恵が必要である。三遠南信サミットの分科会の議論に発展性がないため、もっと具体性をもって議論を進めていけると良いと思う。

【委員長】

本委員会の委員は男性が多い。男性の意見だけでは議論が偏つてしまう恐れもあり、女性の方からの意見は貴重であると考えている。

#### 【駒ヶ根商工会議所 富永専務理事】

- ・人口減少に対して、地域として対応できることは雇用の場、新たな産業を創出していくしかないと考えている。駒ヶ根市のような中山間地は経済規模が小さいが、たくさんの小さい企業が頑張っている。そのような小さい企業にも光を当てていくことが重要である。
- ・スーパー・メガリージョンの内容は、大都市の間の地域についてはあまり触れられていないと考えている。リニア新幹線の地域説明会において、リニアに対してはネガティブな意見が多かった。リニアも含めて、ビジョンではこの地域にとってプラスになるように考えていかねばならない。

#### 【委員長】

今後、三遠南信をまとめていくためには、大企業や力を持っている地域だけでなく、中山間地域や小さな企業、女性の視点もきちんと考えていかなければならない。他の地域にない魅力があるこの地域で、三遠南信の枠組みができてよかったと思えるようなビジョンの策定のために、本日の発言を視野に入れながら進めていきたい。

#### 4 その他

- ・次回の開催は9月11日（月）10:00～12:00で、豊橋市を予定している。
- ・今年度の三遠南信サミットは10月30日を予定している。
- ・今回の内容について、策定委員、構成員に対して改めて意見の照会をさせていただく予定であるので、ご協力をいただきたい。

#### 5 閉会

第1回 第2次三遠南信地域連携ビジョン策定委員会 出席者名簿

分類	団体	役職	氏名	備考
委員長	静岡文化芸術大学	副学長	池上 重弘	
委員	豊橋技術科学大学	副学長	大貝 彰	
委員	法政大学	教授	高柳 俊男	
委員	愛知大学	教授	戸田 敏行	
委員	浜松市	企画調整部長	山名 裕	
委員	御前崎市	総務部長	増田 正行	
副委員長	豊橋市	政策企画課長	加藤 智久	代理
委員	豊川市	企画部長	池田 宏生	
委員	田原市	企画部長	石川 恵史	
委員	飯田市	総合政策部長	今村 和男	
委員	平谷村	総務課長	滝澤 浩	
委員	静岡県	知事戦略課主査	中野 真樹子	代理
委員	愛知県	東三河総局企画調整部長	矢野 浩二	
委員	長野県	総合政策課主任	高橋 和之	代理
委員	浜松商工会議所	専務理事	小杉 和弘	
委員	湖西市商工会	事務局長	柴田 和利	
委員	豊橋商工会議所	専務理事	星野 君夫	
委員	新城市商工会	事務局長	山本 政義	
副委員長	飯田商工会議所	専務理事	福澤 栄二	
委員	駒ヶ根商工会議所	専務理事	富永 満	
委員	地域づくりサポートネット	代表	山内 秀彦	
委員	三遠南信住民ネットワーク協議会	世話人	平川 雄一	
委員	みらい企画 律	代表	矢澤 律子	

分類	団体	役職	氏名	
オブザーバー	浜松信用金庫	法人営業部副部長	井口 浩利	
オブザーバー	豊橋信用金庫	事業支援部理事・部長	渡邊 寛司	
オブザーバー	飯田信用金庫	地域サポート部長	大蔵 雅彦	
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局	広域計画課長	森山 幸司	
オブザーバー	国土交通省中部運輸局	交通政策部計画調整官	岩松 由洋	
オブザーバー	経済産業省中部経済産業局	地域経済部地域振興課長	嶋田 明彦	
オブザーバー	農林水産省東海農政局	農村振興部農村計画課長	山方 正治	